

科目名		授業形態	担当教員名	
運動学実習		実習	中田 修（前期）・中島 大輔（後期）	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回	1 年次	通年
授業の目的・概要				
この授業では解剖学や運動学で学んだ知識を使いながら（必要に応じて知識の補強を図りながら）、実際の動作について学ぶ。学生は自分の身体で確認しながら運動や動作を行うことで、必要な筋や関節の動きに対する理解を深める。後半では視聴覚教材等を使って実際の動作を観察し、姿勢維持や動作の際に注目すべきポイントを学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 各関節の動きを運動学的用語（屈曲、回外など）で他者に説明することができる。 2. 観察した簡単な動作について正しい用語で記述することができる。 3. 基本的な姿勢分析を行うことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	関節の構造と関節運動		16	オリエンテーション
2	下肢の運動（股関節・膝関節・足関節）①		17	臥位の姿勢分析①
3	下肢の運動（股関節・膝関節・足関節）②		18	臥位の姿勢分析②
4	上肢の運動（肩関節・肘関節・手関節）①		19	臥位の姿勢分析③
5	上肢の運動（肩関節・肘関節・手関節）②		20	臥位の姿勢分析④
6	手指の運動（母指球・手内筋など）		21	座位の姿勢分析①
7	頸部の運動		22	座位の姿勢分析②
8	体幹の運動		23	座位の姿勢分析③
9	姿勢の基礎		24	座位の姿勢分析④
10	姿勢分析（背臥位・座位）		25	立位の姿勢分析①
11	動作分析の基礎		26	立位の姿勢分析②
12	動作分析（起き上がり）		27	立位の姿勢分析③
13	動作分析（立ち上がり）		28	まとめ①
14	歩行分析の基礎		29	まとめ②
15	動作分析のまとめ		30	まとめ③
成績の評価法と基準				
種別	割合（前期）	評価基準・その他備考	割合（後期）	
定期試験	60%	教科書及び授業で配ったプリントの内容を問うテストを行うことで評価する。		
レポート	10%	後半の視聴覚教材を用いた姿勢や動作分析の結果を提出したもので評価する。	90%	各姿勢分析や動作分析の結果を提出したもので評価する。
小テスト	25%	前半の各分野終了ごとにその部分の教科書から出題する小テストの得点で評価する。		
平常点	5%	授業への参加態度や出欠状況で評価する。	10%	授業への参加態度や出欠状況で評価する。
その他				
自由記載	前期は上記基準で評価する。		後期は上記基準で評価する。	
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
基礎運動学 第6版		中村隆一・齋藤宏・長崎浩	医歯薬出版	
PT・OT 基礎から学ぶ 運動学ノート 第2版		中島 雅美・中島 喜代彦（編集）	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				
前期・後期の成績を総合評価する。				